

議席10番

田山 文雄 議員



住民サービスの向上の 取組について

Q 住民の手続きの際に手書きせず申請できる「書かない窓口」を導入している自治体もあるが、当町の導入についての考えを伺いたい。

A デジタル庁より自治体の窓口で住民が手書きする申請書をなくし、同じ窓口で複数の手続きができるよう、今夏からデジタル庁が整備する政府クラウド経由で、申請手続きを一括で行えるソフトウェアの提供を始めるとの通知があったので、今後国の動向や先進自治体への調査などを行いながら、町民の皆様の利便性の向上を目指し、窓口業務の拡充等検討してまいりたいと考えている。

(町民生活部長)

所有者不明土地の 対策について

Q 全国的にも所有者不明の土地が増えていることから、昨年、国でも法改正が行われていますが、当町における現状と取組について伺いたい。

A 当町における令和4年度の固定資産税課税台帳による所有者不明土地については、個人と法人を合わせると17件で35筆である。

今後においては、高齢化による相続機会の増加に伴い、所有者不明土地も増加することが見込まれることから、所有者不明の土地の解消に向けて引き続き、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。そして、新たな取組として、国で制度化された所有者不明の土地を地域住民のために利用することができる地域福利増進事業についても、町としては、所有者不明土地対策計画策定等の検討をしてまいりたいと考えているので、ご理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

(総務部長)

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



新型コロナウイルス 感染対策について

Q 令和5年3月13日以降マスクの着用が自由となるが、役場での対応はどのように考えているのか。また今後の公共施設利用や町内行事の開催についても伺いたい。

A 役場は高齢者の方も多く利用されるので、原則着用を考えている。

また公共施設および過去に実施されていた公民館講座については順次再開を検討している。

花火大会や町民祭をはじめとした町内行事の開催については、その時の状況を踏まえつつ実行委員会と協議をしていく予定。

(総務部長・生涯学習課長)



第35回利根川大花火大会

町民への情報発信について

Q 多くの自治体で公式LINEを用いた情報発信が行われているが、当町の今後の情報発信について伺いたい。

A 現在は公式HPをはじめ、SNSではツイッター、フェイスブックにて情報発信を行っている。また「Yahoo!暮らし」により災害情報等のお知らせを行っており、町の情報発信にも拡大していく予定である。

今後はそれらの情報を包括して閲覧できるポータルサイトの導入も検討しており、より使い勝手のいいネット環境および情報発信を行っていききたい。

(町長)